Operation Guide 2634

CASIO

パワーセービング機能について

パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。
本機は工場出荷時に「パワーセービング機能」を ON に設定してあります。
※時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。
※ストップウオッチモードのときは、スリープ状態になりません。

● スリープ状態になるには



●表示スリープ
午後10時～午前6時の間、暗いところで本機を約1時間放置します。
➡液晶表示が消え、スリープマークが点滅します。
アラーム・時報の報音は行ないます。

●機能スリープ
表示スリープのまま暗いところで6～7日間経過します。
➡スリープマークが点滅から点灯にかわります。
アラーム・時報の報音は行ないません。
※ 時計機能は正常に作動しています。

● スリープ状態を解除するには

本機を明るいところに置くか、いずれかのボタンを押すか、オートライト（「●発光のしかた」）のように傾けたりします。
※本機を明るいところに出した場合は、表示が点灯するまでに最大２秒かかる場合があります。

● パワーセービング機能の ON ／ OFF

パワーセービング機能を働かせなくするには「時刻·カレンダーの合わせ方」からの操作をご覧になり、パワーセービング機能をOFFにしてください。

机の中などに長期間しまっておくときは、パワーセービング機能をONにしておけば、節電効果があります。

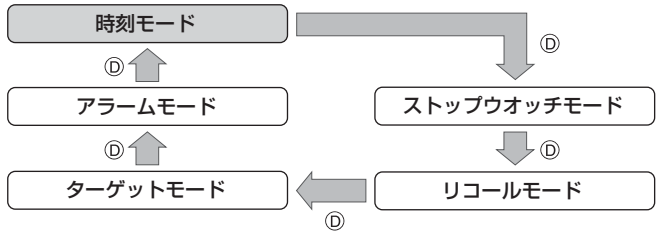
ボタン名称と表示の見方

＜時刻モード＞





モード切り替えのしかた



電源について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。
安定してご使用いただくために、なるべく光が当たるようにしてお使いください。

二次電池が消耗して時計機能が停止すると（レベル4）、メモリーされているデータや設定は消去されます。

● バッテリーインジケーターの見方

レベル1	HIGH◀ MID LOW	すべての機能が使用可能
レベル2	HIGH MID◀ LOW	すべての機能が使用可能
レベル3	HIGH MID LOW◀ CHARGE	液晶表示、ライト点灯、アラーム・時報などの報音が不可
レベル4	HIGH MID LOW	時計機能停止（時計発振不可）

※直射日光下などの強い光で充電した場合、バッテリーインジケーターが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。

※レベル４になっても再度充電を行なうことで使用できます。
※レベル4から充電したときは、レベル3になると表示が点灯しますので、時刻·カレンダーを合わせてください。ただし、レベル２またはレベル１になるまで十分に光を当ててから、ご使用ください。

● 充電必要サイン

レベル3の状態は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行なってください。



● リカバーマークが点滅している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、リカバーマークが点滅して、一時的に以下の操作ができなくなります。

- EL バックライトの点灯
- アラーム・時報などの報音

この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。



リカバーマーク

● 充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。

- 炎天下に駐車中の車のダッシュボード
- 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
- 直射日光が長く当たって、高温になる所

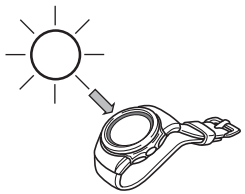
なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

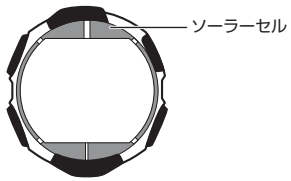
⚠ 充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

● 充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。
※ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますので、ご注意ください。

例）時計の置き方





※イラストは樹脂バンドの場合です。

● 充電の目安

本機は一度フル充電すると、充電しなくても基本動作に加え、下記の条件で使用した場合に約 10ヶ月動き続けます。

※フル充電からレベル３になるまで。

- EL バックライト：1.5 秒間／日
- アラーム報音：10 秒間／日
- 表示点灯：18 時間／日

なお、こまめに充電を行なえば、安定してご使用いただけます。

* 基本動作とは、時計内部の時刻演算処理のことです。

〈1 日動くのに必要な充電時間〉
※左記の条件で使用した場合。

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約5分
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約24分
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約48分
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約8時間

●各レベルに回復するための充電時間

環境（照度）	充電時間 レベル4 ➡ レベル3	➡ レベル2	➡ レベル1
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約2時間	約21時間	約6時間
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約6時間	約108時間	約30時間
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約9時間	約219時間	約60時間
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約103時間	–––	–––

※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

● オートライトご使用時の注意

- オートライトを頻繁に使用すると電池の持続時間が短くなりますのでご注意ください。
- 時計が服の袖に隠れるようにつけると、明るいときでもオートライトが点灯することがあります。
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約1.5秒または約2.5秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。
  ※ 時計を「手首の内側」につけるときは、できるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが作動しにくくなり、発光しないことがあります。このときは、もう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下から振りあげてみると発光しやすくなります。
- 本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部には EL パネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときには表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ボタンを押して発光させる ～手動発光～

リコールモード以外のどのモードのときでも

Ⓛ ボタンを押します



約 1.5 秒または約 2.5 秒間文字板が発光します。

※ ライトの発光時間は設定により異なります（「■ライトの発光時間を設定する」）。
※ オートライトOFFでもⓁボタンを押すと発光します。

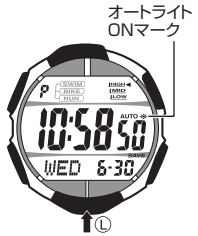
■時計を傾けて発光させる ～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても暗いときに文字板が自動発光する便利なフルオートライト機能です。

※明るいときは、自動発光しません。

暗い場所で、時刻などを見るときに大変便利です。

オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約1.5秒または約2.5秒間発光します。



時刻モードのときに

Ⓛ ボタンを約２秒間押します

オートライト ON マークが点灯します。

※ オートライトをOFFにするときも、Ⓛボタンを約2秒間押してオートライトONマークを消します。

● 発光のしかた



- オートライト機能を使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。
- 文字板の左右（3 時－9 時方向）の角度を± 15° 以内にしておいてください。15° 以上傾いていると発光しにくくなります。



〈EL 発光についてのご注意〉

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

■ライトの発光時間を設定する

ライトの発光時間は約 1.5 秒と約2.5 秒の2パターンあり、切り替えることができます。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓑ ボタンを約２秒間押します



秒が点滅します。

2. セットする

Ⓒ ボタンを押します



Ⓒ ボタンを押すごとに発光時間の設定が切り替わります。

※ 発光時間約 1.5 秒＝✣マーク
発光時間約 2.5 秒＝✣マーク

3. セットを終了する

Ⓑ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

CASIO

デュアルタイム表示について

デュアルタイムとは、現在時刻とは別にもう1 つの時刻をセットできる機能です。本機では、ハワイアイアンマン大会の開催地であるコナ（KONA）の都市コードがあらかじめプリセットされており、時刻を表示させることができます。

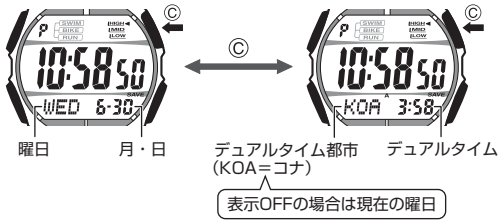
※デュアルタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※基本時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも自動的に24時間制で表示されます。

※コナ以外の都市の時刻をセットするときは、デュアルタイム都市の表示をOFFにしてお使いください。

■デュアルタイムを表示させる

時刻モードのとき、Ⓒ ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



■デュアルタイムのセット

デュアルタイムのセットは時刻モードで行ないます。

※日本の時差とコナの時差との差は－19時間です。日本の時刻から19時間引いた時刻がコナの時刻となります。

*「■時差一覧表」参照。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

秒が点滅します。



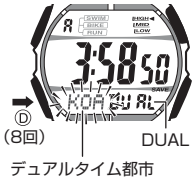
2.「デュアルタイム都市」のセットに切り替える

Ⓓ ボタンを８回押します

デュアルタイム都市“KOA”または“－－－”が点滅します。

※ Ⓓ ボタンを押すごとにセット箇所（点滅箇所）が移動します。

* 点滅箇所の移動については「時計・カレンダーの合わせ方」参照。

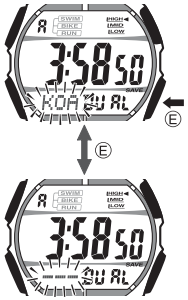


3. 表示のON／OFFを切り替える

Ⓔ ボタンを押します

Ⓔ ボタンを押すごとに表示のON／OFFが切り替わります。

※“－－－”のときは、デュアルタイム都市は表示されません。



4. デュアルタイムの「時」をセットする

Ⓓ ボタンを押してから、Ⓔ または Ⓒ ボタンを押します

Ⓔ ボタンを押すごとに「時」が進み、Ⓒ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓔ・Ⓒ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※「時」のセットのとき、午前（A）／午後（P）にご注意ください。



5. デュアルタイムの「分」をセットする

Ⓓ ボタンを押してから、Ⓔ または Ⓒ ボタンを押します

Ⓔ ボタンを押すごとに「分」が進み、Ⓒ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓔ・Ⓒ ボタンとも、押し続けると早送りします。



6. セットを終了する

Ⓑ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■時差一覧表

主な都市名	GMTとの時差	各都市とコナとの時差
パゴパゴ	－11.0	＋1.0
ホノルル、パペーテ	－10.0	＋0.0
アンカレジ、ノーム	－9.0	－1.0
ロサンゼルス、サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル/タコマ	－8.0	－2.0
デンバー、エルパソ、エドモントン	－7.0	－3.0
シカゴ、ヒューストン、メキシコシティ	－6.0	－4.0
ニューヨーク、モントリオール、マイアミ、ボストン	－5.0	－5.0
カラカス、サンティアゴ	－4.0	－6.0
リオデジャネイロ、サンパウロ、ブエノスアイレス	－3.0	－7.0
	－2.0	－8.0
アゾレス諸島	－1.0	－9.0

主な都市名	GMTとの時差	各都市とコナとの時差
<グリニッジ標準時（GMT）＞　ロンドン、ダブリン	＋0.0	－10.0
パリ、ローマ、マドリード、フランクフルト	＋1.0	－11.0
カイロ、エルサレム、アテネ、ヘルシンキ、ベイルート	＋2.0	－12.0
ジェッダ、クウェート、モスクワ	＋3.0	－13.0
テヘラン	＋3.5	－13.5
ドバイ	＋4.0	－14.0
カブール	＋4.5	－14.5
カラチ	＋5.0	－15.0
デリー	＋5.5	－15.5
ダッカ	＋6.0	－16.0
ヤンゴン	＋6.5	－16.5

主な都市名	GMTとの時差	各都市とコナとの時差
バンコク、ジャカルタ、ハノイ	＋7.0	－17.0
香港、シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ	＋8.0	－18.0
東京、ソウル、平壌	＋9.0	－19.0
アデレード	＋9.5	－19.5
シドニー、グアム	＋10.0	－20.0
ヌーメア、ポートビラ	＋11.0	－21.0
ウェリントン、クライストチャーチ	＋12.0	－22.0

※この表は2003年6月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

※国や地域によりサマータイムを採用しているところもありますので、この表をご使用になるときはご確認ください。

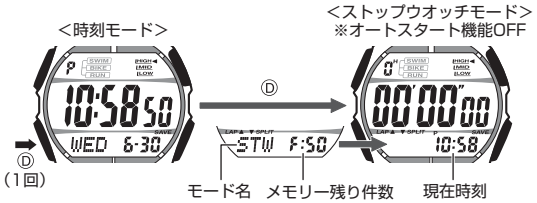
ストップウオッチの使い方

ストップウオッチは 1/100 秒単位で計測できます。
ラップ／スプリット計測を行なうと、そのときのタイムを最大50本までとデータ番号・計測日１本をメモリーします。メモリーしたタイムはリコールモードで簡単に見ることができます。
本機には、オートスタート機能、目標スプリットタイム機能、種目マーク設定機能があり、トライアスロン競技に使用すると大変便利です。

●計測単位＝1/100 秒

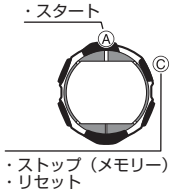
●計測範囲＝99 時間 59 分 59 秒 99（スプリットタイム）
9 時間 59 分 59 秒 99（ラップタイム）
※計測範囲を超えると、0 に戻って計測を続けます。

★計測およびオートスタート機能の設定は、ストップウオッチモードで行ないます。
※ストップウオッチモードにするには、時刻モードからⒹボタンを1回押します。
※モードを切り替えると、モード名とメモリー残り件数を表示します。
※オートスタート機能を ON にしているときは、計測開始までの残り時間を表示します（「●オートスタート機能の ON/OFF」参照）。



■計測時のボタン操作について

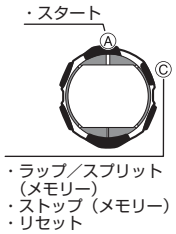
●通常計測



Ⓐ スタート → Ⓒ(約2秒) ストップ → Ⓒ(約2秒) リセット

※計測をストップすると、計測結果がメモリーされます。
※計測ストップ中にⒸボタンを約2秒間押すと、"CLR" が約２秒間点滅し、確認音報音後、計測値が０に戻ります（リセット）。

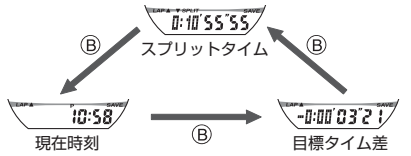
●ラップ／スプリットタイム計測

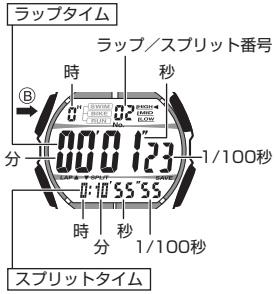


Ⓐ スタート → Ⓒ ラップ／スプリット → Ⓒ ラップ／スプリット → ・・・
・・・ Ⓒ(約2秒) ストップ → Ⓒ(約2秒) リセット

※ラップ／スプリット表示は約8秒後に自動的に解除されます。
※ラップ／スプリットは99までカウントします（99を超えると 00 から再びカウントします）。

<表示切替について>
ストップウオッチモードで計測中または計測ストップ後、Ⓑボタンを押すごとに以下の順で表示内容が切り替わります。

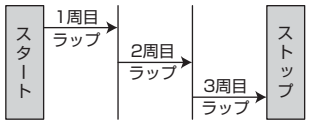




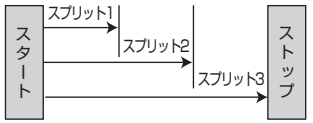
* 目標タイム差については「目標タイム差について」参照。

<ラップタイムとスプリットタイム>
ラップタイムは任意の区間（周回競技では１周分）を進むのに要する時間のことで、スプリットタイムはスタート地点から任意の地点までの経過時間のことです。

● ラップタイム例
陸上、モータースポーツなどの周回競技での１周あたりのタイム。



● スプリットタイム例
マラソンの 10km 地点まで走ったときのタイム。



<メモリーについて>
メモリーは 51 本あり、ラップ／スプリットタイムを最大 50 本とデータ番号・計測日 1 本をメモリーします。
※ラップ／スプリットメモリーが50本以上の場合は、最新の50本がメモリーされます。

例１）一連の計測結果が 1 つだけの場合
データ番号・計測日＋ラップ 50 本＝ 51 本
※一連の計測とはスタートしてからリセットするまでの計測です。

例２）複数の計測結果がある場合
（計測 1）データ番号・計測日＋ラップ 20 本＝ 21 本
（計測 2）データ番号・計測日＋ラップ 29 本＝ 30 本　合計 51 本

※メモリーの呼び出し方については、「●データのサーチ」をご覧ください。

<メモリータイミング>
Ⓒボタンを押してラップ／スプリットを計測すると、ラップ／スプリットタイムをメモリーし、Ⓒ ボタンを約２秒間押して計測をストップすると最終の計測値をメモリーします。

<メモリー容量をオーバーしたときは>
メモリー容量をオーバーしたときは、古いデータを自動的にクリアーして、新たな計測結果をメモリーします。

例１）一連の計測が 1 つだけの場合
もっとも古いラップ／スプリットデータをクリアーします。

例２）複数の計測結果がある場合
もっとも古い一連の計測結果をまとめてクリアーします。

※任意のメモリーをクリアーするときは、「●データの消去」をご覧ください。

■オートスタート機能について

計測開始時刻を設定することができます。
オートスタート機能を ON にすると、計測開始までの残り時間を表示し、セットした時刻に計測を自動スタートします。
定時に開始するレースなどに使用すると大変便利です。

●計測開始時刻のセット

1. セット状態にする
ストップウオッチモード（計測リセット状態）のとき

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

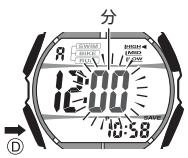
時が点滅します。



2. セット箇所を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとにセット箇所（点滅箇所）が「時」⇔「分」で移動します。



3. セットする

Ⓔ または Ⓒ ボタンを押します

Ⓔ ボタンを押すごとに数字が進み、Ⓒ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓔ・Ⓒ ボタンとも、押し続けると早送りします。



Ⓓ ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、Ⓔ・Ⓒ ボタンでセットする操作を繰り返し、セットしてください。

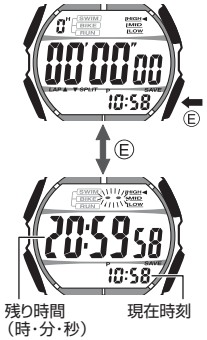
- 「時」のセットのとき、午前（A）／午後（P）にご注意ください。
- 基本時刻を 24 時間制にしているときは、計測開始時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

4. セットを終了する

Ⓑ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。
※ 計測開始時刻をセットしても、オートスタート機能の設定が OFF になっているときは自動スタートを行ないません。
* オートスタート機能の ON ／ OFF については （「●オートスタート機能の ON/OFF」参照）。

●オートスタート機能の ON ／ OFF



ストップウオッチモード（計測リセット状態）のとき

Ⓔ ボタンを約 1 秒間押します

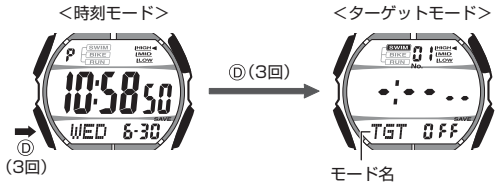
Ⓔ ボタンを約 1 秒間押すごとにオートスタート機能の ON ／ OFF が切り替わります。

※ オートスタート機能を ON にすると、計測開始までの残り時間を表示します。

- 他のモードに切り替えても、残り時間をカウントし続けます。
- オートスタート機能をONにすると、Ⓐ ボタンを押して計測をスタートさせることができません。残り時間のカウントを中止し、即スタートするときは、オートスタート機能を OFF にしてください。
- 残り時間が 0（セットした時刻）になると、確認音の報音とともに計測を自動スタートします。

★目標スプリットタイムおよび種目マークの設定は、ターゲットモードで行ないます。

※ターゲットモードにするには、時刻モードから Ⓓ ボタンを 3 回押します。



■目標スプリットタイム機能ついて

スプリット 1 ～ 5 までの目標タイムを設定することができます。
目標スプリットタイム機能をONにすると、ストップウオッチモードで目標タイム差を見ることができます。また、セットした目標タイムを経過したときに電子音が 3 秒間鳴ります。

＜セット例＞

例 1）水泳 20 分、自転車 3 時間、マラソン 2 時間行なう場合

	目標タイム	種目マーク
スプリット1	0：20 00をセット	スイム SWIM
スプリット2	3：20 00をセット	バイク BIKE
スプリット3	5：20 00をセット	ラン RUN
スプリット4	OFF	OFF
スプリット5	OFF	OFF

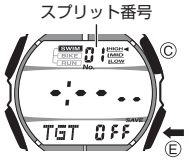
例 2）水泳 20 分、トランジットタイム 5 分、自転車 3 時間、トランジットタイム 5 分、マラソン 2 時間行なう場合

	目標タイム	種目マーク
スプリット1	0：20 00をセット	スイム SWIM
スプリット2	0：25 00をセット	OFF
スプリット3	3：25 00をセット	バイク BIKE
スプリット4	3：30 00をセット	OFF
スプリット5	5：30 00をセット	ラン RUN

＊ 種目マークについては「■種目マークについて」参照。

※目標タイムのセットはストップウオッチ計測中およびオートスタート機能がONのときはできません。ストップウオッチモードで計測リセット状態になっていることを確認してから行なってください。

●目標タイムのセット

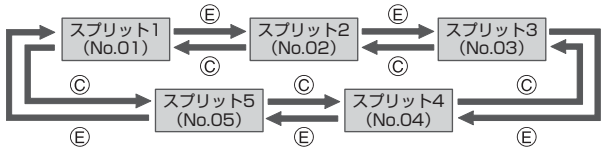


1. 表示を選ぶ

ターゲットモードのとき

Ⓔ または Ⓒ ボタンを押します

以下の順で表示が切り替わります。

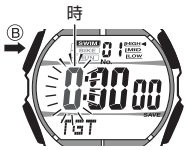


2. セット状態にする

Ⓑ ボタンを約 2 秒間押します

時が点滅します。

※ 目標スプリットタイム機能が ON になります。



3. セット箇所を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに以下の順でセット箇所（点滅箇所）が移動します。



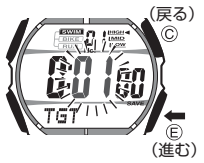


4. セットする

Ⓔ または Ⓒ ボタンを押します

Ⓔ ボタンを押すごとに数字が進み、Ⓒ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓔ・Ⓒ ボタンとも、押し続けると早送りします。



Ⓓ ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、Ⓔ・Ⓒ ボタンでセットする操作を繰り返し、セットしてください。

- 10 秒単位で 99 時間 59 分 50 秒までセットできます。
- セット状態のときに Ⓐ ボタンを押すと、目標タイムは “0：00 00” になります。

5. セットを終了する

Ⓑ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま 2 ～ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

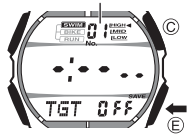
●目標スプリットタイム機能の ON ／ OFF

1. 表示を選ぶ

ターゲットモードのとき

Ⓔ または Ⓒ ボタンを押します

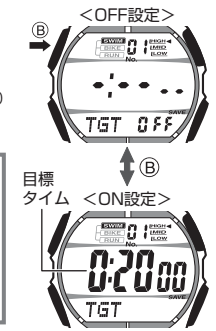
Ⓔ または Ⓒ ボタンを押して、設定したい表示を選びます。



2. ON ／ OFF を切り替える

Ⓑ ボタンを押します

Ⓑ ボタンを押すごとに ON ／ OFF が切り替わります。



- 目標スプリットタイム機能をONにすると、ストップウオッチモードで目標タイム差を見ることができます。また、セットした目標タイムを経過したときに電子音が 3 秒間鳴ります。

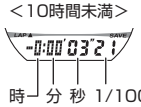
＊ 目標タイム差の表示方法については「表示切替について」参照。

<目標タイム差について>

目標タイム差とは、設定した目標タイムと計測したスプリットタイムとの差です。
本機では、目標タイム差が10時間未満のときは1/100秒単位で、10時間以上のときは1分単位で表示します。
※目標スプリットタイム機能がOFFまたは計測値が目標タイムを超えたときは、目標タイム差が表示されません（－：－－′－－″－－表示）。



<10時間未満>



<10時間以上>



■種目マークについて

スプリット1～5までの計測ごとに種目マークを設定することができます（種目マーク3種類）。
種目マークを設定すると、計測中は該当の種目マークが点滅します。
※工場出荷時は以下の内容で種目マークが設定されています。

（・スプリット1＝スイム SWIM
・スプリット2＝バイク BIKE
・スプリット3～5＝ラン RUN）

※スプリット6以降は、計測中はすべての種目マークが点灯します。

種目マーク（計測中は点滅）



●種目マークの設定

1. 表示を選ぶ

ターゲットモードのとき

Ⓔ または Ⓒ ボタンを押します

Ⓔ または Ⓒ ボタンを押して、設定したい表示を選びます。

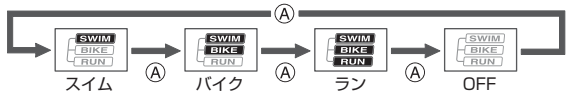


2. 種目マークを選ぶ

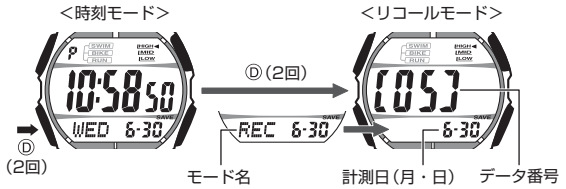
Ⓐ ボタンを押します

Ⓐ ボタンを押すごとに以下の順で種目マークの設定が切り替わります。





★メモリーしたデータは、リコールモードで呼び出します。
※リコールモードにするには、時刻モードから Ⓓ ボタンを2回押します。
※モードを切り替えた直後は、最新のデータ番号と計測日を表示します。



■リコールモードの使い方

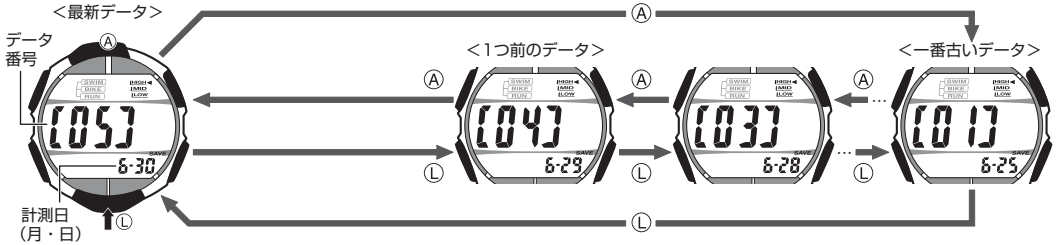
●データのサーチ

1. データ番号を選ぶ

リコールモードのとき

Ⓛ または Ⓐ ボタンを押します

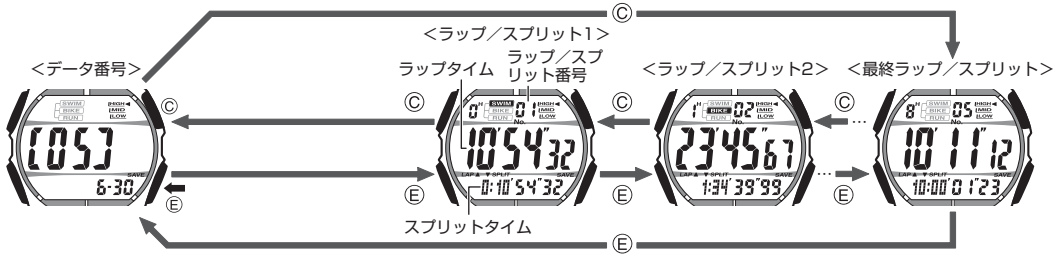
ⓁまたはⒶボタンを押すごとにデータ番号順に表示が切り替わります。
※ Ⓛ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



2. 計測結果を見る

Ⓔ または Ⓒ ボタンを押します

ⒺまたはⒸボタンを押すごとに表示が切り替わります。
※ Ⓔ・Ⓒ ボタンとも、押し続けると早送りします。



●データの消去

1. 消去したいデータを選ぶ
リコールモードのとき

Ⓛ・Ⓐ・Ⓒ・Ⓔ ボタンを押します

消去したいデータを表示させます。

※ Ⓛ・Ⓐ・Ⓒ・Ⓔ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ データ番号ごとに消去を行ないます（ラップ／スプリット表示でもデータ消去はデータ番号ごとに行ないます）。

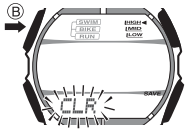


2. 消去する

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

"CLR"が約2秒間点滅し、確認音報音後、その一連のデータが消去されます。

※ データを消去すると、後ろのデータ番号が1 つずつ繰り上がります。



アラーム・時報の使い方

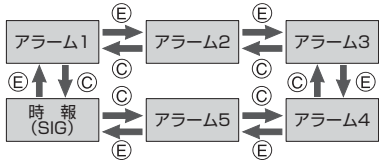
時・分・曜日を設定できるアラームが５本あり、セットした時刻になると10秒間の電子音が鳴ります。
また、毎正時（00分のとき）に"ピッピッ"と電子音を鳴らすこともできます。
※アラームモードにするには、時刻モードから Ⓓ ボタンを４回押します。

■アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ
アラームモードのとき

Ⓔ またはⒸ ボタンを押します

以下の順で表示が切り替わります。





2. セット状態にする

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

時が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。

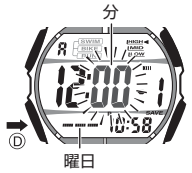


3. セット箇所を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに以下の順でセット箇所（点滅箇所）が移動します。





4. セットする

Ⓔ または Ⓒ ボタンを押します

Ⓔ ボタンを押すごとに数字（曜日）が進み、Ⓒ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓔ・Ⓒ ボタンとも、押し続けると早送りします。



Ⓓボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、Ⓔ・Ⓒ ボタンでセットする操作を繰り返し、セットしてください。

- 「時」のセットのとき、午前（A）／午後（P）にご注意ください。
- 基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。
- 「曜日」をセットしないときは"－－－"を表示させます。
- 「時・分」に加えて、「曜日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。
  （・**毎日**鳴らす ……「時・分」のみセット
  ・**毎週同じ曜日**に鳴らす ……「曜日・時・分」をセット）

5. セットを終了する

Ⓑ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。



■アラーム・時報のON／OFF

1. アラームまたは時報を選ぶ
アラームモードのとき

Ⓔ またはⒸ ボタンを押します

Ⓔ またはⒸ ボタンを押してアラーム１～５または時報表示を選びます。



2. ON／OFF を切り替える

Ⓑ ボタンを押します

Ⓑボタンを押すごとにマークが点灯／消灯します。



※それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報報知を行ないます。

<アラーム2表示>
アラームマーク



<時報表示>
時報マーク



■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

■モニターアラーム

アラームモードのときに Ⓐ ボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

時刻・カレンダーの合わせ方

充電切れなどで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。
月に 1 度くらい「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。
パワーセービング機能の ON/OFF 設定も以下の操作で行ないます。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓑ ボタンを約 2 秒間押します

秒が点滅します。



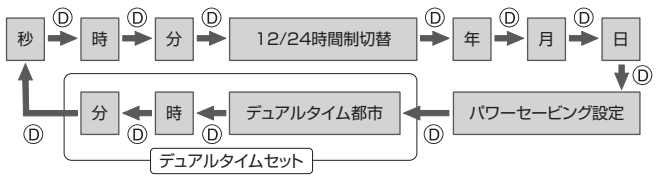
2. セット箇所を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

Ⓓボタンを押すごとに以下の順でセット箇所（点滅箇所）が移動します。

* デュアルタイムのセットについては「■デュアルタイムのセット」参照。





3. セットする

Ⓔ または Ⓒ ボタンを押します

Ⓔ または Ⓒ ボタンで点滅箇所をセットします。



Ⓓボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、Ⓔ・Ⓒ ボタンでセットする操作を繰り返し、セットしてください。

a. 「秒」セットのとき

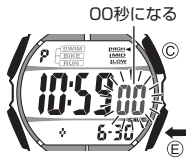
時報に合わせて Ⓔ ボタンを押します

00 秒からスタートします。

※ 秒が 00～29 秒のときは切り捨てられ、30～59 秒のときは 1 分繰り上がって 00 秒になります（時報は「時報サービス電話 117 番」が便利です）。

※ 秒が点滅しているときに Ⓒ ボタンを押すと、ライトの発光時間を切り替えることができます。

* 「■ライトの発光時間を設定する」参照。



b. 「時」「分」「年」「月」「日」セットのとき

Ⓔ または Ⓒ ボタンを押します

Ⓔ ボタンを押すごとに数字が進み、Ⓒ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓔ・Ⓒ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ 「年」は 2000 年～2049 年までセットできます。



- 「時」のセットのとき、午前（A）／午後（P）にご注意ください。
- 年月日を正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。
- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

c. 「12/24 時間制切替」のとき

Ⓔ ボタンを押します

Ⓔ ボタンを押すごとに 12 時間制表示 “12H” と 24 時間制表示 “24H” が切り替わります。



d. 「パワーセービング設定」のとき

Ⓔ ボタンを押します

Ⓔボタンを押すごとにパワーセービング機能のON／OFFが切り替わります。

※ パワーセービング機能を ON にすると、セット終了後パワーセービングマークが点灯します。



パワーセービングマーク

4. セットを終了する

Ⓑ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。